

発表

河川愛護モニター活動紹介

河川愛護モニターさんにはこんな報告をいただいています！

河川愛護モニターさんには、梯川に対するご意見などを、梯川の管理者である金沢河川国道事務所月に毎月報告していただいています。事務所では、河川愛護モニターさんを毎年一般の方から募集し、1年間の任期をお願いしています。

今回の「広報かけはしがわ」の誌面において平成18年度の募集も兼ね、平成17年度モニターの藤本さん、荒木さんの毎月の活動報告書より、梯川の「気付いたこと・感じたこと・聞いたこと」を紹介させていただきます。

湊上川合流付近で 泳ぐ鮭を発見した！

3匹目、4匹目とあっという間にいなくなりました。



梯川河川愛護モニター
藤本 義久さん



ついに鮭の遡上を捉える！

梯川には子供たちに伝えるべき事が多くある、と強く語る藤本さんは小学校の先生。将来梯川を子供たちの体験活動の場にしたいと考えている藤本さんには、カヌーに乗って、水上から見た梯川の報告をしていただいています。その中で梯川を遡上する鮭の生態を調査し、ついに鮭の姿を発見したという報告をご紹介します。

『平成17年11月13日 中海大橋より下のポイントからカヌーで下る。経海新橋の近くで川の波が不自然に走る。今年初見の鮭、第一号！あっとい間にすれ違っ中海大橋のほうへ行く。そしてそのまま下り続けると仏大寺川合流付近で3匹目、荒木田大橋の下流付近で4匹目。それぞれすれ違っの遭遇である。あっとい間に見えなくなる。』

この時カメラを持っていなかった藤本さんは、後日再び鮭に遭遇した時に、産卵するために泳ぐ姿を写真に収めました。

『2〜3年かければ面白い写真も撮れて子供の学習資料に使えるかもしれない。』と藤本さん。

みなさんは鮭の遡上を見たことがありますか？ 金沢河川国道事務所ではいろんな「〇〇発見したよ」という情報をお待ちしていますので、モニターでない方もいろんな情報をお寄せ下さい。

梯川を散歩してみると いろんな発見があるよ！

梯川にウォーキングコースがあってびっくりです。



梯川河川愛護モニター
荒木 嘉友さん

普段から梯川の河川改修工事の様子や大雨出水による決壊・浸水を心配する荒木さんには、主に荒木田大橋を起点に堤防を歩かれて気付いた、梯川の報告をいただいています。その中のいくつかをご紹介します。

『平成17年7月 〔白江大橋〜鴨瀬橋〕7月初めの豪雨の増水もかなり減りましたが、水にのこりはまだとれていないようです。荒木田大橋付近からは水も綺麗になり、河川敷の草木も青々とし、鴨も数羽見られました。』『平成17年10月 広報かけはしがわvol.18で紹介されたモデルコース「まちなみ散策コース」を歩いてみました。市内の見晴らしもよく、河川敷の草木も綺麗に刈られていて快適なものでした。また堤防や河川敷に彼岸花がまだ咲いており、意外な感じでした。』『平成17年12月 〔舟場橋〜小松新橋〕堤防上の道路を走る車両から投棄したと思われる、生ゴミの入ったレジ袋等がかなりありました。モラルの問題。』



河川敷の彼岸花



不法投棄されたゴミ

最後の報告はやはりゴミ問題。これから季節は春になり、梯川ウォーキングも新緑の中、気持ちの良いものとなります。自然豊かな梯川にポイ捨てはやめましょうね！

平成18年度 河川愛護モニター募集中！

応募される方は、「住所・氏名・電話番号・郵便番号」を明記の上、下記まで

金沢河川国道事務所では、手取川・梯川を愛する沿川住民のみなさんから、いろいろなご意見や情報を提供していただきたく、河川愛護モニターを募集しています。

1.河川愛護モニターの活動内容

手取川・梯川に対する意見。モニターご自身の河川愛護に関する活動報告（毎月）。金沢河川国道事務所の河川事業やイベントなどに対する感想・意見（随時）。地元の情報提供。河川愛護モニター会議の出席（年1〜2回程度）。その他なんでも。

2.募集人数

手取川・梯川それぞれ2名ずつ。

3.応募資格

- (1) 手取川又は梯川の付近にお住まいの方で、満20歳以上の心身共に健康な方。
- (2) 毎月の報告を確実に行っていただける方。また、随時の報告を積極的に行っていただける方。

4.任期

平成18年7月1日より、平成19年6月30日まで

5.応募締切

平成18年6月16日

6.その他

金沢河川国道事務所より、薄謝支給（3ヶ月毎、年4回支給）。またご意見を本誌に掲載させていただきます。

注）河川愛護モニターは、定期的に河川を巡視したり、ゴミの不法投棄者などに対して直接注意・指示して是正を図るなど、特別な責務や権限を有するものではありません。

お問い合わせ・お申し込み 金沢河川国道事務所河川管理課 TEL 076-264-8800 FAX 076-233-9612

お問い合わせ先

国土交通省金沢河川国道事務所調査第一課 TEL076-264-8800

小松出張所 TEL0761-23-4000

ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>

広報「かけはしがわ」は、ホームページでもご覧になれます。



国土交通省 北陸地方整備局

金沢河川国道事務所

本誌は古紙100%の再生紙を使用しています



R2100

環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています



かけはしがわ

発行：国土交通省金沢河川国道事務所

国府小学校5年生68人が 梯川の河川環境を学ぶ！



うまく植えられたかな？

2段目には柳を植栽

1段目にはヨシを植栽

特集

◆平成18年度 梯川改修事業について

◆かけはしがわにおける多自然型川づくり

◆河川愛護モニター活動紹介

平成18年3月10日、国府小学校5年生68人が古府地区の護岸復旧工事の現場見学とヨシと柳の植栽を行いました。

この現場見学会は、護岸復旧工事を行っている（株）向出組さんが、地元小学生に梯川に関心を持ってもらうために行ったもので、ヨシと柳は護岸部の植生を復元させるために、植栽しました。

これまでの出前授業をふり返って

5年2組担任 平野 則恵 先生

これまで梯川を身近に感じる事のなかった子供達ですが、そこに住む魚や野鳥を実際目にし、手にとる体験をさせていただき、川につかりながら大はしゃぎする子供達を見てうれしく思いました。

今年一年環境について学んできた子供達は、これらの体験を通してこんなに身近に自然が残っていること、それらを壊さずに守っていくことの大切さを強く感じる事が出来たのではないのでしょうか。

ヨシ



水質浄化機能に優れ、多くの動物にとっても、河川景観にとっても重要な植物。

柳



その根によって法面を安定させる。成長すれば多くの生き物がそこを利用し、やがて美しい河川景観が上る。

特集

平成18年度 梯川改修事業について

金沢河川国道事務所では、洪水による氾濫からみなさんの生命と財産を守るために平成18年度は以下の事業を行います。



九竜橋川排水機場改築

引堤に伴う九竜橋川排水機場の改築を引き続き行います。



まちづくり・川づくり・道づくり

国(河川改修)・県(小松大橋架替)・市(まちづくり)が連携して地域づくりを進めます。今年度は昨年に引き続き、小松大橋架替等関連施設の改築を推進します。

もし中心市街地で氾濫したら!!

梯川の河川改修は、前川合流点から上流に向け川幅を拡げる事業を実施しており、現在は河口から3km付近の、背後に中心市街地を抱える区間の整備を行っています。

もし、梯川の河口から3km付近(右図の×)の堤防が洪水時に破堤した場合、小松市中心市街地が浸水し、約665億円の被害が試算されています。

新潟・福島豪雨による破堤、氾濫状況



平成16年7月新潟・福島豪雨(新潟県 五十嵐川)



ハザードマップ
小松市では、万が一梯川の堤防が壊れた場合に避難する場所を示したハザードマップを作成し、各戸に配布しています。

被害想定

被害額	約 665億円
浸水面積	約 9km ²
床上浸水	約 900戸
床下浸水	約 4,100戸

もし破堤すると・・・!



下牧町



下牧町周辺の想定水深は、1.0～2.0m未満

小松市役所



小松市役所周辺の想定水深は、0.5m未満

事業紹介

かけはしがわにおける多自然型川づくり 自然に優しい川づくり

たしぜん型川づくり

川の中の生き物が棲みやすい環境になりました!

かつての梯川では、コンクリートむき出しの護岸を施工してきましたが、現在では川に棲む生き物に配慮した多自然型護岸を整備しています。金沢河川国道事務所では、多自然型護岸を整備することによって、どのくらい川に棲む生き物が棲みやすくなったかを調査しています。

調査の結果、多自然型護岸では、確認種数、確認個体ともに従来の護岸の4種10個体を上回る、11種27個体が確認されました。



タモ網による捕獲



網カゴによる捕獲

従来の護岸

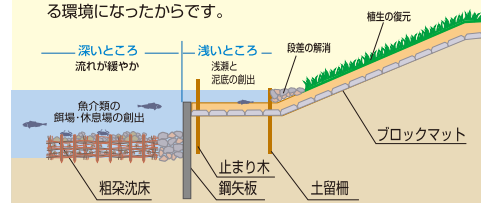


多自然型護岸



なぜ多自然型護岸にすると魚介類が増えるの?

多自然型護岸では、水深の深い所や浅い所があり、とくに浅い所では流れの緩い環境を好むメダカや、浅瀬の泥低地を好むジユスカヘやドジョウが棲める環境になったからです。



多自然型護岸で発見された魚たち

多種多様な水辺空間を創出する多自然型護岸では、流れの緩やかなところにメダカ、浅瀬の泥底地にジユスカヘやドジョウ、陸水域のどちらにも生活圏をもつイシガメなど、従来の護岸には生息していない、魚介類たちの生息が確認されました。

生息が確認された魚介類



梯川に昔の景色を取り戻そう!! - 記念桜植樹 -

平成18年3月10日に、梯大橋左右岸の公園(大川町、茶屋町)とJR梯川橋梁上流の左岸(園町)の3ヶ所で、丸内中学校1～3年生のみなさんが、丸内中学校創立60周年を記念して、桜の植樹を行いました。今回、植樹された場所はかつて美しい桜並木が広がっており、昔の美しい桜並木を復元させたいという思いが込められています。

桜満開の梯大橋(昭和63年頃)



架け替え前には美しい桜並木がありました



1年生が植樹



2年生が植樹



3年生が植樹